

中立は金茶釉を呈し押へ上下は漆黒色で釉の
光沢良好

2.2.2. 研究題目釉下絵の具の研究

研究者氏名 寺尾作次郎
研究開始時期 昭和28年4月
研究終了時期 継続中

〔目的〕特色ある釉下絵具の調製

(イ) 褐色（従来使用中の鉄絵の具に明るさを持たせるため）

〔成果〕酸化亜鉛6、石灰石4、硼砂2、酸化クロム1、酸化鉄2を酸化焰焼成でチョコレート褐色系の綺麗な色調が得られる。

(ロ) 青緑色の配合

〔成果〕ロー石5、酸化コバルト1、蛙目8、酸化ターロム0.3（何れも秤目の割合を示す）の配合で呉須の発色を更に明朗にした近代的な感じを持つた色彩が得られる。但し酸化焰の場合は多少黒味を帯びる。

2.3 雑 録

2.3.1 講習会並に技術指導

今年度は特に中・小学校が工作教育に無業技術を探り入れたところが多く築戸、工作、焼成の技術指導に追はれた。

講習会開催校並に受講者数

薩摩郡山崎中学校 参加校 27
薩摩郡宮之城中学校 参加校 34
始良郡帖佐中学校 参加校 28
川内市可愛小学校 参加校 70

技術指導者 寺尾作次郎、淵脇堅治

講習内容

イ、樂焼窯の基礎より外衣を着せるまでの実地指導

ロ、弁慶稿、市松、鶴手、花文等、異色土練り合せ等ロクロ外の成形法

ハ、簡単に出来る粘土細工、手すくねによる手法

ニ、浸し掛け、打掛け、刷毛目、刷毛打、布打、櫛目、自然植物張付、指頭文、白繪、釘彫、

印花、掻き落し等白化粧裝飾法

ホ、各種低火度釉の調合比率等について
へ、素焼並に樂焼の実地焼成指導

国内留学教官の指導

祇川中学校、勝目中学校、東襲山中学校

伊集院中学校、大始良中学校

2.3.2 質疑応答、技術相談その他

本場で技術相談に応じた件数……… 14件

見学者数……… 526名

焼成試験……大素焼2回・本焼3回・錦窯19回

試作数量……1089点、匣鉢250

2.3.3. 設備使用許可

設備名称	使用目的	使用期間	使用者
電気炉	陶器の錦絵付	昭和28年6月26日	薩摩陶器
全 上	全 上	28, 7, 3	全 上
全 上	全 上	28, 7, 31	全 上
全 上	全 上	28, 10, 17	全 上
全 上	全 上	28, 11, 18	全 上
全 上	全 上	28, 12, 4	全 上
全 上	全 上	29, 2, 18	全 上
全 上	全 上	29, 2, 27	全 上